東京都千代田区神田美土代町9番地1 株式会社フージャースコーポレーション 代表取締役 廣岡哲也

## 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の	 部	負 債 の	部
項目	金額	項目	金額
流動資産	21, 457, 918	流動負債	15, 879, 425
現金及び預金	3, 763, 595	買掛金	255, 663
売 掛 金	98, 630	短期借入金	6, 885, 100
仕掛販売用不動産	16, 056, 981	1年内返済予定の長期借入金	7, 163, 000
貯 蔵 品	9, 152	未払金	215, 915
前渡金	42, 147	未 払 費 用	54, 258
前払費用	281, 865	未払法人税等	13, 868
繰 延 税 金 資 産	1, 158, 111	未払消費税等	67, 660
未 収 入 金	27, 870	前    受    金	987, 168
差入保証金	5, 986	預り金	208, 824
そ の 他	45, 180	前 受 収 益	1, 474
貸 倒 引 当 金	△31, 602	賞与引当金	24, 173
   固 定 資 産	2, 235, 325	そ の 他	2, 318
有 形 固 定 資 産	1, 779, 554	固 定 負 債	2, 787, 246
建物	897, 604	長期借入金	2, 730, 000
構築物	2, 847	繰 延 税 金 負 債	8, 893
機械及び装置	0	資産除去債務	23, 566
車両運搬具	1, 568	そ の 他	24, 787
工具、器具及び備品	7, 523		
土 地	870, 011		
無 形 固 定 資 産	41, 713	負 債 合 計	18, 666, 672
ソフトウェア	41, 148	純 資 産 の	部
そ の 他	565	株 主 資 本	5, 026, 571
投資その他の資産	414, 056	資 本 金	2, 400, 240
投 資 有 価 証 券	3, 000	利 益 剰 余 金	3, 357, 396
関係会社株式	60, 000	その他利益剰余金	3, 357, 396
出 資 金	10	繰越利益剰余金	3, 357, 396
関係会社出資金	200, 000	自 己 株 式	△731, 065
長 期 貸 付 金	1, 231		
長期 前払費用	1, 203		
差 入 保 証 金	149, 439		
貸 倒 引 当 金	△828	純 資 産 合 計	5, 026, 571
資 産 合 計	23, 693, 243	負 債 純 資 産 合 計	23, 693, 243

注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日)

(単位:千円)

							(1   ± 1   1   1
		項	目			金	額
売		上	r	高			7, 893, 101
売	上	原	京 イ	面			4, 268, 402
	売	上 絲	総 利	3	<u>益</u>		3, 624, 698
販	売 費 及	び一般	2 管理	費			1, 391, 412
	営	業	利	ž	<u>益</u>		2, 233, 285
営	業	外	収 益				
	受	取	:	利	息	1, 332	
	解	約	金	収	入	6, 260	
	受	取	手	数	料	10, 543	
	そ		$\mathcal{O}$		他	10, 823	28, 959
営	業	外	費	刊			
	支	払	:	利	息	375, 313	
	支	払	手	数	料	13, 122	
	そ		$\mathcal{O}$		他	18, 544	406, 980
	経	常	利	i	<u>益</u>		1, 855, 265
特	別	担	<u> </u>	夫			
	固	定 資	産	除 :	却損	2, 629	2, 629
	税 引	前当	期純	利	<u>益</u>		1, 852, 636
	法 人	税、住	民 税 及	. び 事	事業 税	3, 398	
	法	人 税	等	調	整 額	$\triangle 729, 175$	△725, 776
	<u>当</u>	期	吨 利	ž	<u>益</u>		2, 578, 412

注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
		資本剰余金		利益剰余金				
	資本金	資本	その他	利益 - 準備金	その他利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		準備金	資本 剰余金		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
平成22年3月31日残高	2, 400, 240	_				778, 983	△731, 065	2, 448, 158
事業年度中の変動額								
当期純利益	_	_	_	_	_	2, 578, 412		2, 578, 412
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)								
事業年度中の変動額合計						2, 578, 412	_	2, 578, 412
平成23年3月31日残高	2, 400, 240	_	_	_	_	3, 357, 396	△731, 065	5, 026, 571

	評価・換	純資産合計	
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成22年3月31日残高			2, 448, 158
事業年度中の変動額			
当期純利益	_	_	2, 578, 412
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	_	_	_
事業年度中の変動額合計	_	_	2, 578, 412
平成23年3月31日残高	_	_	5, 026, 571

注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### 個 別 注 記 表

#### (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

- 1. 資産の評価基準及び評価方法
- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のないもの移動平均法による原価法

- (2) デリバティブ取引により生じる正味の債権(及び債務)の評価基準及び評価方法 時価法
- (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産 個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基

及び仕掛販売用不動産 づく簿価切下げの方法)

貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物 (建物付属設備を除く)・・・定額法

(リース資産を除く) その他 ・・・定率法

なお、主な耐用年数は、建物 8  $\sim$ 39年、構築物 3  $\sim$ 20年、機械及び装置 2 年、車両運搬具 6 年、工具、器具及び備品 2  $\sim$ 15年であり

ます。

無形固定資産 自社利用のソフトウエアについては、社内における利用可能期間

(リース資産を除く) (5年)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒

実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収

可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞 与 引 当 金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に

基づき当期に見合う分を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

なお、資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用として処理しております。

#### (会計方針の変更に関する注記)

#### 会計処理の原則又は手続の変更

当事業年度から平成20年3月31日公表の「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企 業会計基準適用指針第21号)を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税引前当期純利益に与える影響は軽微であります。

#### (貸借対照表に関する注記)

#### 1. 担保に供している資産

仕掛販売用不動産	14, 457, 521千円
建物	886,740千円
構築物	2,847千円
機械及び装置	0千円
工具、器具及び備品	0千円
土地	870,011千円
合計	16, 217, 120千円
担保に係る債務の金額	
短期借入金	6, 113, 100千円
1年内返済予定の長期借入金	7, 163, 000千円
長期借入金	2,730,000千円

#### 2. 有形固定資産の減価償却累計額

218,068千円

16,006,100千円

なお、減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれております。

#### 3. 偶発債務

合計

顧客の金融機関からの借入金に対する保証債務

27,938千円

#### 4. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

関係会社に対する短期金銭債務

0千円

#### (損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引による取引高

営業取引以外の取引による取引高

5,400千円

6,600千円

#### (株主資本等変動計算書に関する注記)

自己株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度	当事業年度	当事業年度	当事業年度末
	末株式数	増加株式数	減少株式数	株式数
普通株式 (株)	10, 559	_	_	10, 559

#### (税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	繰越欠損金	1,862,367千円
	たな卸資産評価損	2, 624, 342
	減損損失	89, 926
	資産除去債務	9, 589
	その他	172, 787
	繰延税金資産小計	4, 759, 012
	評価性引当額	△3, 600, 900
	繰延税金資産合計	1, 158, 111

繰延税金負債	資産除去債務に対応する除去費用	8,893千円
	繰延税金負債合計	8, 893
繰延税金資産の	D純額	1, 149, 218

#### (リースにより使用する固定資産に関する注記)

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引 (工具、器具及び備品)

①事業年度末日における取得価額相当額 5,424千円

②事業年度末日における減価償却累計額相当額 3,887千円

③事業年度末日における未経過リース料相当額 1,536千円

#### (1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たり純資産額

15,929円 25銭

2. 1株当たり当期純利益

8,171円 02銭

#### (注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算書上の当期純利益(千円)	2, 578, 412
普通株主に帰属しない金額(千円)	_
普通株式に係る当期純利益(千円)	2, 578, 412
普通株式の期中平均株式数(株)	315, 556

#### (その他の注記)

通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価に関する事項

通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下に伴う簿価切下額262,724千円が売上原価に含まれております。